

# わたくしたちの健康

## 抗がん剤治療（オプジーボ）

朝霞地区医師会 なかすて 中捨 かつき 克輝  
☎464-4666

今回は抗がん剤治療を皮膚科医の観点からお話しさせていただきます。「がん」とは、自分の体の細胞の一部が遺伝子の異常を来すことで勝手に増殖し、体に害を及ぼす病気です。抗がん剤治療は通常病状が進行し、手術だけでは完全に治すことが難しい状態の患者さんが受けるものです。

そもそも薬とは、治療を受ける人の細胞と、治療の対象となる病原体やがん細胞との「ちがう部分」を攻撃するように作られたものです。本人の体にはなるべく副作用を起こさず、標的となる病原体やがん細胞をやっつけるのが理想ですが、がん細胞は元が自分の細胞であり似ている部分が多いため、体への副作用も強くなります。

皆さんも「免疫力」という言葉を使うと思いますが、実は免疫は外からの病原体に対抗するだけではありません。自分の体の正常な部分には攻撃を控えつつも、初期のがんなど、異常を来した細胞は攻撃するという、非常に複雑で絶妙なバランスの上に成り立った働きなのです。人間一人分の細胞は数十兆個あり、毎日数千個の「がん細胞」が生まれ、ほとんどは免疫の働きで未然に除去されているといわれています。それが人生で数十年続き、免疫のチェックをす

り抜けた細胞だけが「本当のがん」になります。

京都大学名誉教授の本原佑先生ほんじゆうが、2018年のノーベル医学・生理学賞を受賞されました。受賞理由は、免疫チェックポイント阻害薬「オプジーボ」の開発につながる研究です。この薬が画期的な治療効果を発揮していることも非常に話題になりました。しかし「免疫チェックポイント」という聞きなれない用語はどういう意味なのか、それを「阻害」する薬がどのように働くのか、という疑問をお持ちになった方も多いのではないかと思います。

「免疫チェックポイント」とは、その身体にとって免疫の攻撃対象かどうかを決める機能です。進行するがん細胞は、これを巧みに利用し、免疫の攻撃から隠れる力があります。オプジーボはその免疫チェックポイントの働きを抑え、本人の免疫力を活性化してがん細胞をやっつける、新しい働きの抗がん剤です。例えるなら「かくれんぼのうまいがん細胞を見つけやすくする薬」です。長年、手術以外に有効な治療法がほとんどなかった「ほくろのがん」である悪性黒色腫（メラノーマ）でも、今までの治療より効果が期待できることが分かりました。

免疫チェックポイント阻害薬は、本来自分の体を免疫の暴走で壊さないための「免疫寛容」という働きを抑えてしまう治療法です。そのため、投与された患者さんの90%以上に副作用がみられ、中には命にかかわる場合もあります。進行したがんの治療のためにはある程度やむを得ずリスクを伴う面もありますが、健康保険では適正に使用されるよう、使用できる患者さんを厳正に定め、副作用に対処できる病院だけで行える規則になっています。しかし、中には「がん免疫療法」と称して免疫チェックポイント阻害薬を不適切な用法と高額な自己負担で使用させようとする悪質な腫瘍内科クリニックもあります。適正な使用の場合には健康保険が適用されますので、治療を受ける医療機関を選ぶ際はご注意ください。

今回はメラノーマに対して高い効果を発揮する免疫チェックポイント阻害薬とその仕組みについてご紹介しましたが、それでも、皮膚がん治療は早期発見・手術が一番の方法です。皮膚のできものは誰の目にも見えますが、正しい診断は皮膚科専門医の診断が不可欠です。気になるできものはぜひ、近くの皮膚科に相談しましょう。

わたくしたちの健康

### 日曜・休日に実施している医療機関

午前10時～午後4時

月日	場所	施設名	科目	電話(048)	場所	施設名	科目	電話(048)
4	7	和光 門田医院	内・循内・皮・小	461-6412	新座	三須耳鼻咽喉科	耳・アレ・気	480-1187
	14	朝霞 三浦医院	内・小・皮	461-3802	志木	よつはレディースクリニック	婦	423-6428
	21	新座 新座中央通り診療所	内・小	473-3331	朝霞	福島眼科	眼	469-1006
	28	和光 恵クリニック	内・消内・皮	464-9893	志木	志木大腸肛門クリニック	肛・消内	423-8768
	29	新座 志木小児科・アレルギー科クリニック	小・アレ	481-1064	朝霞	北朝霞整形外科	整外・内・リウ・リハ	474-7711
	30	志木 わかばこどもクリニック	小・アレ・皮・内	423-4749	朝霞	みらいず眼科	眼	423-7310



※当番医は変更になる場合があります。確認してからお出かけください。